

## 「第 22 回技術部発表会」開催

2024 年 3 月 14 日（木）に「群馬大学 理工学系技術部 第 22 回 技術部発表会」が開催された。本イベントは、群馬大学桐生地区の理工学系技術部に所属する技術職員が日々取り組んでいる様々な業務について相互に報告し、見識を深め合うといった趣旨のものである。2002 年に第 1 回の発表会が実施されて以降、毎年 9 月に欠かさず開催されてきた。しかし、2020 年度の第 19 回は新型コロナウイルス感染症の流行に伴う半年間の開催延期の後、zoom によるオンライン開催という形で年度末に実施された。その後、2021 年度の第 20 回、2022 年度の第 21 回と、3 年間に渡りオンライン開催を余儀なくされたが、2023 年 5 月 8 日の新型コロナウイルス感染症 5 類移行を契機に、2023 年度の第 22 回の本発表会からは対面開催を漸く再開することができた。

発表会には理事や理工学部長など、大学運営を担う方々もお招きし、ご多忙の中ご出席いただいた。また、群馬大学の他拠点に所属する理工学系技術部以外の技術職員や、他大学・他機関などの技術職員による聴講参加も有り（発表参加がある年もある）、技術的な交流を深めた。さらに毎年、注目度の高い研究などに携わっている教員の先生に、特別講演を依頼している。これにより、最先端で話題の研究を勉強することができ、参加者にとって非常に有益なものとなっている。その他、教員や事務系職員の方々にも聴講参加を呼び掛けており、理工学系技術部組織を広く知ってもらう場として機能している。（今年度の参加者：学内 35 名、学外 2 名）

発表会は、まず近藤統括技術長より開会の挨拶があり、その後、花屋理事（研究・企画担当）、石間理工学部長からお言葉を頂戴した。その後、分子科学部門の山延教授に「高分子材料の構造解析のヒント -NMR を中心として-」と題して特別講演（口頭・60 分）を行っていただいた。そして、間に休憩を挟みながら 6 件の業務発表（口頭・20 分）と新人職員の自己紹介（口頭・20 分）、さらに定年退職者の記念講演（口頭・20 分）を行い閉会となった。

業務報告の詳細としては、まず理工学系技術部が研究・教育支援業務とは別に、主として活動している「安全衛生業務」や「地域貢献事業」の成果や課題について報告がなされた。これら発表について、他大学の技術職員から盛んに質問が飛び、興味・関心の高さが窺えた。続いて、群馬

大学の機器分析センターが学生向けに実施している「X 線電子分光法マイスター育成プログラム」、群馬大学と他機関との「共同研究」に対する支援業務、機械系技術職員による職員や学生向けの「スキルアップ研修（3D-CAD、溶接技術、シーケンス制御、AI 技術）」について、各部門の技術職員が持つ理工学的な専門性に基づいた支援業務について発表が行われた。どの発表も高度で専門性の高い内容であったが、共通して学生の人材育成に目を向けたものになっており、質疑応答も活発に行われた。

最後に、本発表会について、聴講者の皆さまからは概ね好評をいただいた。本稿で技術部発表会に興味を持たれた方は、次回以降、聴講参加していただけたら嬉しく思う。（文責：高橋）

追伸）技術部発表会の報告内容は「技術部報告集」の第 5 章に掲載しています。興味のある方は是非ご参照ください。[技術部 HP/活動記録/技術部報告集 (<https://www.tsk.st.gunma-u.ac.jp/transaction.html>)]



特別講演の様子



業務発表の様子



## 耐震固定動画はじめました (技術環境整備グループ)

技術環境整備グループは、理工学部により良い環境作りを目的に作られたグループであり、学内の安全・環境対策として耐震固定作業、防犯カメラの設置・管理、局所排気装置の自主点検、軽微な電気工事など様々な業務を行っている。その中でも、耐震固定作業には力を入れているが、学内耐震固定の未施工箇所をゼロにすることはできていない。

耐震固定には自力で固定する場合とグループや業者に依頼する場合の2パターンがあり、自力で固定する場合、方法を間違ってしまうと実際に地震が起きた場合に危険回避することができないため、決められた道具を正しく使うことが大切である。

そこで、耐震固定を行う上で頻度の高いコンクリートアンカーボルトの使い方の動画を作成しHP上にアップした。この動画を見ることで、自力で固定する場合にどのような道具を使いコンクリートアンカーを施工するのかを理解していただくことができると思う。是非たくさんの方に見ていただき正しい耐震固定作業を行うことで震災対策をしっかりとしてほしいと思う。

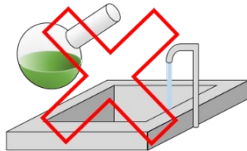


技術環境整備グループ HP



耐震固定動画 (約13分)の様子

(文責：齋藤)



## 学生向け技術・安全講習会を開催 (廃液における諸注意)

令和5年11月21日の16:00-17:00に廃液集荷時の注意などに関する講習会を行った。タイトルは【廃液における諸注意～廃液取り扱い上の注意、廃液集荷の手続き、廃液処理工程～】

とし、ハイブリッド形式にて大講義室およびZOOMを用いた。その結果、「廃液の分類について詳しく知ることができた」等のポジティブな意見を頂戴することができ、本講習の目的である、「学内集荷施設への搬入」の手順及び注意事項の解説をする事で廃液処理に対する意識向上を図ることができた。

実験廃液の回収と管理は大学のコンプライアンス面だけでなく、学生の環境意識の為にも重要と思われるため、今後は事務的・法的な面だけではなく分類や取り扱いについて説明可能な合理性を重視した内容としていきたいと考えている。

(文責：竹下)

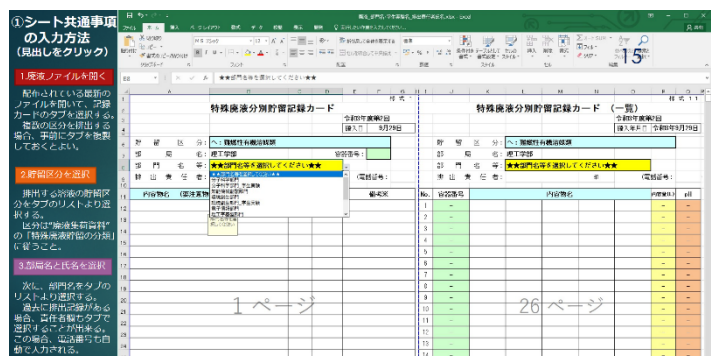
### 特殊廃液について

群馬大学理工学部では

- ・ 水質汚濁防止法(水濁法)
- ・ 下水道法
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)

の趣旨に則り、水質汚濁を未然に防止すると共に研究・実験の安全衛生のため、無機系および有機系特殊廃液は外部委託して処理している

理工学部における特殊廃液について



廃液記録カード作成手順の説明